

6 故障診断方法と処置

● 故障・異常の見分け方と処置方法

故障または、異常と判断する前に次の項目を点検し、再度点火操作をしてください。

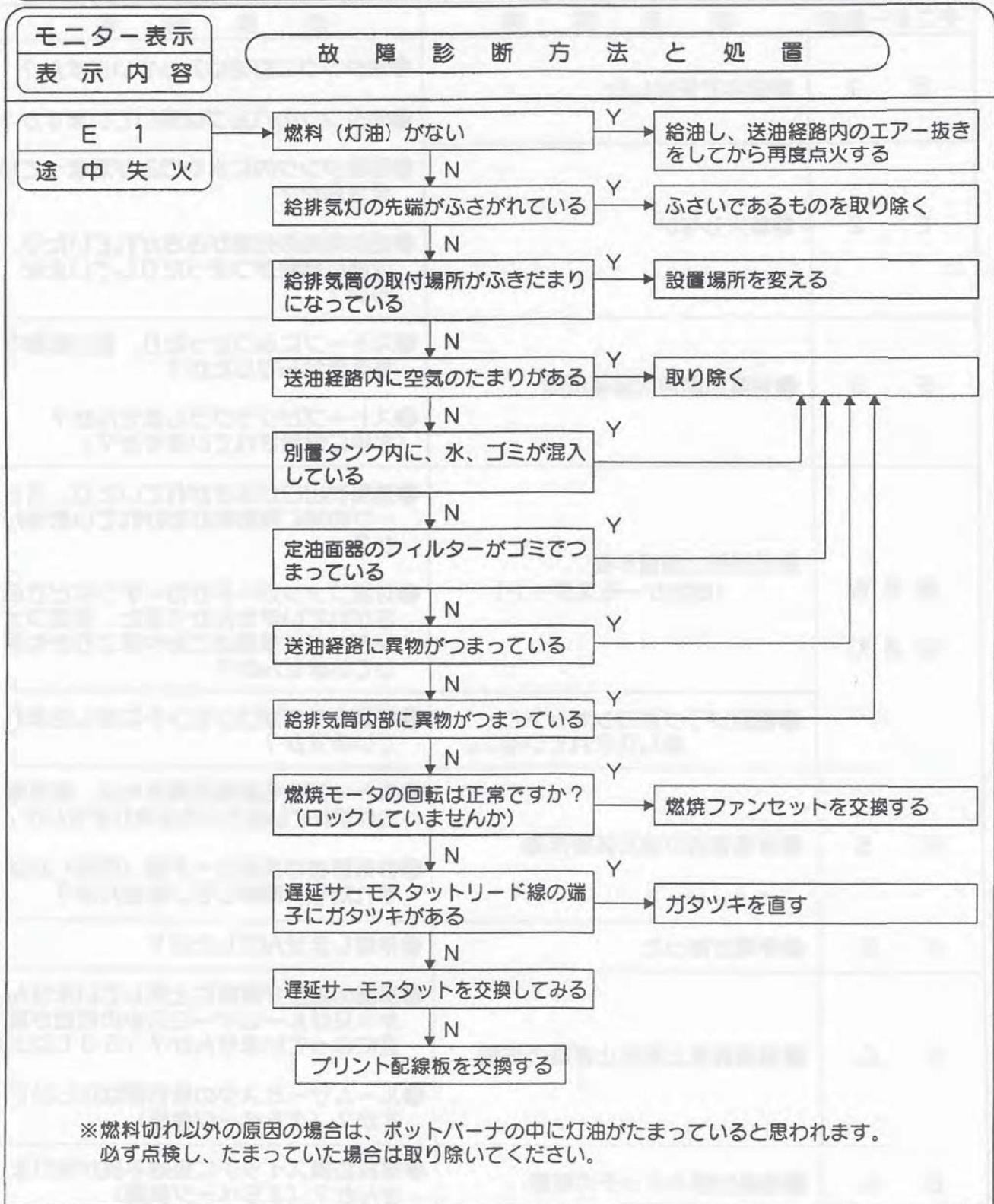
それでも直らない場合は、「故障診断方法と処置」の項（P11～14）に従って点検を行ってください。

モニター表示	表 示 内 容	点 検 内 容
E 1	●途中で失火した	<ul style="list-style-type: none"> ●油タンクに灯油は入っていますか？ ●油タンクのバルブは開いていますか？
E 2	●着火しない	<ul style="list-style-type: none"> ●別置タンク内に水やごみが溜まっていますか？ ●給排気筒の先端がふさがれていったり、内部に異物がつまつたりしていませんか？
E 3	●対震自動消火装置作動	<ul style="list-style-type: none"> ●ストーブにぶつかったり、強い衝撃を与えませんでしたか？ ●ストーブがグラグラしませんか？（水平に設置されていますか？）
表示部 全消灯	●加熱防止装置作動 (安全サーモスタート)	<ul style="list-style-type: none"> ●温風吹出口がふさがれていったり、ストーブの前に障害物がおかれていませんか？ ●対流ファンガードがカーテンなどでふさがれていませんか？また、対流ファンガードに多量のごみやほこりが付着していませんか？
	●電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	●電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？
E 5	●排気管抜け検知装置作動	<ul style="list-style-type: none"> ●ストーブから給排気筒または、排気管のはずれているところはありませんか？ ●排気管抜け検知リード線（灰色）がはずれたり、断線していませんか？
E E	●停電があった	●停電しましたか？
E C	●室温異常上昇防止装置の作動	<ul style="list-style-type: none"> ●部屋の温度が異常に上昇していませんか？又はルームサーミスタの付近が高温になっていますか？（50°C以上） ●ルームサーミスタの抵抗値は正しいですか？（15ページ参照）
E U	●標高切換スイッチの断線	●標高切換スイッチに接触不良がありますか？（15ページ参照）

● 故障診断方法と処置

故障または、異常と判断する前に次の項目を確認してください。

- 変質灯油や灯油以外の燃料を使用していませんか？
- 誤った設置方法・使用方法をしていませんか？
- ストーブ定格電圧AC100V (50/60Hz) と電源電圧は合っていますか？
- 各コネクターは間違いなく、また確実に差し込まれていますか？



6

※ 燃料切れ以外の原因の場合は、ボットバーナの中に灯油がたまっていると思われます。
 必ず点検し、たまっていた場合は取り除いてください。

モニター表示
表示内容

故障診断方法と処置

E 2
着火しない

燃料(灯油)がない Y 給油し、送油経路内のエアー抜きをしてから再度点火する

給排気筒の先端がふさがれていますか? Y ふさいでいるものを取り除く

給排気筒の取付場所がふきだまりになっている Y 設置場所を変える

送油経路内に空気のたまりがある Y 取り除く

別置タンク内に、水、ゴミが混入している Y

定油面器のフィルターがゴミでつまっている Y

送油経路に異物がつまっている Y

給排気筒内部に異物がつまっている Y

燃焼モータの回転は正常ですか?
(ロックしていませんか?) N 燃焼ファンセットを交換する

点火ヒータが赤熱しない Y 点火ヒータの導通又は抵抗値は正常ですか?
(P15参照)

点火ヒータと点火しんのスキ間が
1~2mmになっていない Y

スキ間を1~2mmにする

点火ヒータを交換する

プリント配線板の点火ヒータ端子
に100V出力が出でていない Y

プリント配線板を交換する

※燃料切れ以外の原因の場合は、ボットバーナの中に灯油がたまっていると思われます。
必ず点検し、たまっていた場合は取り除いてください。

